

平成 25 年度

決 算 説 明 資 料

中 頓 別 町

## 目次

議会費	2
総務費	3
民生費	13
衛生費	20
労働費	22
農林水産業費	23
商工費	29
土木費	31
消防費	33
教育費	36
特別会計	44

( )内の数字は予算現額

# 議会費

## 〈議会費〉

(担当：議会事務局)

### 議会事務事業

**決算額 4,463万円(4,493万円)**

この経費は、主として議員の報酬、定例会や臨時会、各委員会等の会議出席に伴う費用弁償に使われる他、町議会の活動状況を広く町民に周知し、議会に対する理解と認識を深めてもらうための議会広報発行費用、議事録作成にかかる会議録調製委託料、事務局職員の人件費などに充てられました。

#### ■議員に関する経費

- 議員の報酬、議員共済負担金・事務費 2,678万円
- 定例会や臨時会、各委員会、研修や視察などの費用弁償 74万円
- 議員公務災害補償組合負担金 6万円

#### ■職員に関する経費

- 事務局職員の給料、各種手当、共済組合負担金 1,498万円
- 事務局職員の普通旅費として 19万円

#### ■事務的経費

- 議会だより印刷費 71万円
- 議会だより配付料 1万円
- 車両燃料費、高速料金、駐車料金 4万円
- 法令集追録代や議会関連雑誌定期購読代、消耗品代 23万円
- 会議録調製委託料 71万円

#### ■その他の経費

- 議長交際費 8万円
- 前議長肖像画 10万円

### 【参 考】

#### ○宗谷管内町村議会議員年収比較

(平成26年3月31日現在)

町村名	順位	議長 (円)	順位	副議長 (円)	順位	委員長 (円)	順位	議員 (円)
中頓別町	⑨	2,520,000	⑨	2,280,000	⑨	2,220,000	⑨	2,112,000
管内平均		3,418,775		2,800,187		2,632,799		2,485,911

(順位は、宗谷管内8町1村中の順位)

## 総務費

---

### 〈一般管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

#### 人事管理事務事業 決算額 3億9,007万円(3億9,100万円)

特別職、一般職及び臨時職員の給料支払いの他、共済事務や健康診断などの福利厚生事務、職員の研修や進退に関する事務など組織の内部管理事務のための経費です。

一般会計で支出する職員の給与は、議会事務局職員は議会費、教育長を含む教育委員会職員は教育費で支出し、それ以外の職員は総務費で支出しました。

#### 儀式典礼事業 決算額 8万円(11万円)

自治記念式、檜原民之助氏慰霊祭等の儀式のために支出しました。

自治記念式は毎年4月1日に開催し、中頓別町の自治の発展に寄与された方々4名を表彰して記念品を贈呈しました。

#### 行政改革事務事業 決算額 2万円(3万円)

平成17年度に策定した中長期行財政運営計画に基づき、適切に行財政改革を推進していくため、行政改革推進委員会を開催しました。

#### 町村会事務事業 決算額 258万円(259万円)

宗谷町村会は、宗谷管内のすべての町村で組織し町村に共通する課題の解決や情報の収集と提供、職員研修の共同実施などの事業を行っています。その運営に必要な経費は、町村の規模等で決められ負担金として支出しました。

※24年度負担金 213万円

#### 法制事務事業 決算額 200万円(200万円)

平成17年度から例規集の冊子を廃止し、Web版例規集のみとし、平成24年度から新システムの導入により例規の制定改廃事務の効率化と経費の削減を図り、例規の改正等によるデータの更新費用とシステムの利用料等として支出しました。

#### 自衛官募集事務事業 決算額 1万円(2万円)

自衛隊員募集・確保のため自衛隊募集推進協議会と連携して円滑な活動を図りました。

#### 文書管理事務事業 決算額 72万円(72万円)

適切な公文書管理と情報公開へ対応するために必要な統合文書管理システムの保守料として支出しました。

#### その他総務関連事務事業 決算額 377万円(408万円)

上記の事業の他、総務の一般的な事務を行うために必要な経費を支出しました。

### 〈財政管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

#### 地方債事務事業 決算額 4万円(4万円)

起債を適正に管理するためのシステムにかかる保守経費を支出しました。

**物品管理事業** **決算額 277万円(306万円)**

職員が業務上必要な事務用品(コピー機、印刷機にかかる用紙代や保守料など)の経費を支出しました。

**その他財政関連事務事業** **決算額 54万円(50万円)**

平成22年度に導入した財務会計システムにかかる保守料などの経費を支出しました。

**〈文書広報費〉**

(担当：総務課住民グループ)

**広報広聴事業** **決算額 209万円(220万円)**

情報公開は、町づくりの根幹であり、新たな目線で広報広聴事業に取り組みます。

・ **広報誌なかとんべつの発行**

町が抱える様々な問題や課題、町で起こっている出来事などをお知らせしています。特集などを中心に紙面の見直しを進めながら内容の充実を図っていきます。

・ **広報なかとんべつ お知らせ版の発行**

月2回、健康相談の日程や行政のお知らせを発行し、町民への情報提供を図りました。

・ **広報広聴活動**

町長と町民のみなさんとが、膝を交えて、活発的な議論ができる地域懇談会「町長がおじゃまします」を実施しました。

・ **街頭放送の実施**

町内の街頭放送を運営する中頓別町街頭放送協会に加盟し、町のお知らせなどを随時放送しました。

**〈財産管理費〉**

(担当：産業建設課建設グループ)

**役場庁舎維持管理事業** **決算額 615万円(600万円)**

庁舎の電気料や、電話料など建物の維持管理に関する経費を支出しました。

**町有財産維持管理事業** **決算額 1,205万円(1,228万円)**

庁舎以外の町有財産に係る損害保険料や建物等の維持管理に関する経費を支出しました。

- ・ 町有職員住宅水洗化工事 2棟3戸 217万円(250万円)
- ・ 町有職員住宅解体工事 1棟 67万円(70万円)
- ・ 松音知会館屋根修繕工事 84万円(87万円)

**〈企画費〉**

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

**総合開発委員会事業** **決算額 27万円(29万円)**

平成24年度からスタートした第7期総合計画に基づき、豊かで住みよいまちづくり、誰もが住んでよかった、いつまでも住み続けることのできるまちづくりを実現するため、計画

の推進管理を重点的に行いました。

- ・委員会の開催 本委員会 1回 外部評価委員会 3回 7万円
- ・委員等旅費 1万円
- ・フォーラム講師報償費等 2回 19万円

#### **町内対抗スポーツ大会補助事業 決算額 38万円(38万円)**

北緯45度夏まつりにあわせて地域住民が楽しめる競技として町内対抗スポーツ大会を実施しており、実行委員会に対して、その運営費の一部を補助しました。

#### **花とみどりのまちづくり推進事業 決算額 35万円(38万円)**

住民参加を基本に美しく快適で潤いのある生活環境をつくるため、公共施設に花樽の設置を行ったほか、有志団体の協力により、旧開発跡地広場に花壇の整備を行いました。

- ・花樽設置 14施設 46樽
- ・旧開発跡地広場花壇 7面

#### **地方バス路線維持対策事業 決算額 1,459万円(1,459万円)**

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始し、これまで関連市町村で連携を取り、連絡調整協議会により様々な対策を検討してきました。

平成25年度においても、バス路線を維持するために必要な補助を行いました。

- ・地域間幹線系統確保維持分 303万円
- ・地域間幹線系統確保維持分(買支え) 1,115万円
- ・市町村単独路線維持分 41万円

#### **天北線バス定期運賃補助事業 決算額 144万円(160万円)**

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスに転換となってから、通学生の通学費用の軽減を図るために定期運賃に対して補助金を交付しています。

補助実績	平成23年度	32人	144万円
	平成24年度	32人	150万円
	平成25年度	30人	144万円

#### **環境保全活動推進事業 決算額 3万円(4万円)**

環境の保全と創造を町民が自主的・主体的に進めていくため、条例・計画に基づいた推進に努め、環境保全に関する事項について諮問するため、環境基本法の定めに基づき町環境審議会を推進します。

- ・環境審議会 1回 2万円
- ・中頓別クリーンアップ週間 1万円

#### **土地利用等規制対策事業 決算額 5万円(5万円)**

国土利用計画法に基づく規制、誘導や土地取引の届出事務に要する経費です。

#### **全国過疎地域自立促進連盟事業 決算額 5万円(5万円)**

過疎地域における産業、経済の開発振興と地域住民の生活、文化の安定向上を図る、全国過疎地域自立促進連盟と連携し、過疎地域対策の充実強化を図っています。

**北方領土復帰期成同盟事業** **決算額 1万円（1万円）**

我が国固有領土である北方四島の返還を求めため、全道の市町村や関係団体で組織する北方領土復帰期成同盟に加盟しています。毎年、この北方領土問題に対する啓発活動に取り組むとともに、北方領土返還要求署名運動を推進しています。

**自治会連合会運営補助事業** **決算額 131万円（132万円）**

自治会の育成指導、相互の連絡調整を図り、住民福祉の増進並びに地域振興発展に寄与することを目的とする自治会連合会に対し補助金を交付しました。

- ・各自治会に配分 131万円

**いきいきふるさと推進事業** **決算額 33万円（40万円）**

町内に転入された方には、中頓別で生活する上での必要な情報の提供を行います。

また、子育てに対しては祝い品の贈呈や支援を行い、地域が温かい気持ちで支えあうまちづくりを目指します。

- ・転入支援事業 中頓別町生活情報誌の配布 2万円
- ・子育て支援事業 出生祝金（商工会発行商品券 1人30,000円分） 18万円
- 絵本プレゼント（1歳児、1歳6ヶ月児、3歳児を  
対象に1人2冊を乳幼児健診時に手渡し） 6万円
- 紙オムツ、紙オムツ用ごみ袋 7万円

**地域づくり活動支援補助事業** **決算額 201万円（235万円）**

町民による地域特性や地域資源を活かした地域づくりを推進する活動に対して補助金を交付することにより、地域振興と町民福祉の向上を図ることを目的としています。

平成25年度は次の事業に補助を行いました。

- ・コミュニティ・レストラン開設事業（株式会社 自由起画） 201万円

**そうや自然学校事業** **決算額 610万円（633万円）**

中頓別町やその周辺の自然環境を、そうや自然学校として、生涯学習の推進、環境教育、体験型観光などの活動を地域住民、行政、地域産業、地域外と協働で進め、その取り組みをつなげ発展させるとともに、地域内外の交流を図ることを目的に活動を展開しています。

- ・人件費 411万円
- ・催事開催事業費 36万円
- ・施設維持管理費 153万円
- ・研修旅費等 10万円

◇ 子どもの教育（自然体験活動）

地域の方々から生活の知恵、自然の知識を子どもたちが学ぶ機会を提供し、単なる体験や知識伝達ではない「自然と人の生活」が繋がった自然体験型・生活体験型環境学習を提供しました。

- ・学校支援活動 14事業 690人
- ・こども館支援活動 14事業 285人
- ・中頓別いいところ探し隊 6事業 74人

- ・森もりキャンプ 2事業 28人
  - ・町内、町外研修の受入れ 1事業 110人
  - ◇ 人材育成とネットワーク
 

豊かな自然とともに歩んできた中頓別の歴史・文化に触れ、地域の宝を再発見、再発掘する学びと交流の場を提供しました。

    - ・生活職人、スタッフ等スキルアップ事業 2事業 4人
    - ・指導者養成講座 4事業 54人
    - ・ものづくり講座 3事業 60人
  - ◇ 体験型（観光）ツーリズム
 

この地に住み暮らす方々と過ごす「時の流れ」を感じるプログラムを企画実施し、都市では感じることはできない、心豊かになれる中頓別の過ごし方を提供しました。

    - ・なかとんべつ体験観光ツアー 1事業 3人
    - ・町内外団体の受入れ等 5事業 62人
  - ◇ 環境保全活動
 

中頓別の自然環境を保護するための調査や保全活動を実施しました。

    - ・頓別川清掃カヌー等 2事業 52人
  - ◇ 地域情報の発信
 

自然学校の取り組みや地域活動について情報発信を行いました。

    - ・各種取材受入等 4事業 10人
    - ・その他打ち合わせ等 25事業 72人
- 参加利用者数 延1,504人

## 移住定住促進事業

**決算額 36万円（36万円）**

平成18年度から北海道移住促進協議会に参画し、移住・定住を促進するための事業に取り組んできています。

現在は、3棟のおためし暮らし用住宅を用意して受入れを行っており、平成25年度には6組14名の方が利用されました。この取り組みをきっかけとして二地域居住や移住へと繋げていけるように今後もこれを継続していきます。また、大阪で開催された北海道暮らしフェアに参加して、本事業のPRを行いました。

- ・北海道移住定住促進協議会会費 5万円
- ・諸会議等出席のための旅費 4万円
- ・北海道暮らしフェア参加費 27万円

## 移住体験事業実績

	おためし暮らし	二地域居住	完全移住
～H21	27組 60人 延686日	1組 3人	1組 3人
H22	6組 10人 延134日	1組 3人	
H23	12組 26人 延556日	2組 6人	
H24	6組 11人 延481日		2組 2人



H25	6組 14人 延 417日		2組 4人
計	57組 121人 延 2,274日		

**中頓別自然ふれあい活動推進事業 決算額 10万円（9万円）**

頓別川を代表とする豊かな自然の姿を見つめ直すため、環境保全（教育）活動の一環として様々な調べ活動を実施しています。

平成25年度は、河川の水質調査を実施したほか、外来種であるセイヨウオオマルハナバチに関する講習会を開催しました。

**消費者行政活性化事業 決算額 14万円（14万円）**

消費生活相談窓口の機能強化と消費生活相談員等の資質向上を図るとともに、被害予防に関する普及啓発に努めました。

- ・ 稚内消費者センター負担金 14万円

**定住自立圏事業 決算額 76万円（77万円）**

中心市宣言（定住自立圏構想推進要綱第4に規定）を行った「稚内市」「名寄市及び士別市」と相互に役割を分担し連携しながら、定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、安心して暮らせる定住自立圏を形成することを目的に取り組んでいます。

- ・ 諸会議等出席のための旅費 1万円
- ・ 第2次救急医療事業負担金（北・北海道中央圏域定住自立圏） 75万円

**業務マネジメント運営事業 決算額 69万円（69万円）**

第7期中頓別総合計画の推進管理と行政評価の実施体制の充実を図るためのシステム運営経費です。

**地上デジタル放送共聴アンテナ改修事業**

**決算額 1,607万円（4,410万円）**

※予算額のうち、2,803万円は繰越明許費です。

地上デジタル放送難視状況にある地域（世帯）の恒久的な対策を講じるため、「中頓別・旭台・上駒」地区を対象とした地上デジタル放送共聴アンテナ設備を整備しました。

**市街地照明灯LED化改修事業 決算額 2,328万円（2,328万円）**

全国的に省エネへの取り組みが進められる中、町としても具体的な方策の一つとして町内の道路照明灯及び防犯灯をLED照明灯へと更新しました。

**東日本大震災子ども支援事業 決算額 49万円（49万円）**

東日本大震災に伴う福島原子力発電所事故等により被災された子どもたちに、のびのびと当たりまえの夏休みを過ごしてもらおうと、小学1年生から中学1年生までの児童生徒8名が来町。豊かな自然環境の中で様々な体験活動を行いました。

**企画総務事業 決算額 218万円（227万円）**

上記の事業の他、まちづくり推進課の一般的な事務を行うために必要な経費です。

- ・ 臨時職員賃金 194万円
- ・ 職員旅費等 24万円

## 〈公平委員会費〉

(担当：公平委員会書記長)

### 公平委員会事務事業

**決算額 2万円 (2万円)**

この経費は、公平委員3名の報酬に充てられました。

## 〈生活安全推進費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

### 生活安全推進事業

**決算額 77万円 (89万円)**

#### 生活安全事業

**23万円**

平成25年5月3日を以って町内における交通事故死ゼロ3,500日の達成となりました。今後も、関係団体との一層の連携を図るとともに、交通事故撲滅をめざし、交通安全意識と啓蒙を図り、町民の安全を確保します。

また、高齢者世帯や児童を不審者等から守る活動等が重要であることから、警察、ボランティア団体などと連携し、町内巡視などを引き続き取り組んでいきます。

- ・道交通安全推進委員会負担金 3万円
- ・啓発資材、消耗品、燃料代等 20万円

#### 交通指導員事業

**37万円**

交通安全対策を推進するため、交通指導員を委嘱して活動を推進しているほか、安全啓発活動などを行っています。今年度は5月に交通事故死ゼロ3,500日を達成しましたので、今後は、平成26年9月15日の4,000日を目標とし、全町民一丸となって取り組みを強化します。

- ・交通指導員の報酬及び費用弁償 37万円

#### 平成25年度出動状況

月 日	出動した行事名	出動人員
4/8~4/12	春の交通安全運動 新入学児童街頭指導	10
4/10、4/15	春の交通安全運動 一斉パトライト作戦	10
5/9	中頓別小学校青空教室・街頭指導	2
5/19	春季消防演習	3
5/29	パトライト作戦	5
6/2	鍾乳洞まつり	5
7/10~7/12	夏の交通安全運動 通学児童街頭指導	7
7/10、7/19	夏の交通安全運動 一斉パトライト作戦	12
7/17	認定こども園こぐまクラブ街頭啓発	3
7/22、7/23	中頓別神社祭典 (小学校鼓笛パレード、渡御、宵宮祭)	11
8/3	北緯45度夏まつり	5
8/4	スポーツフェスティバル	3

8/15	商工会盆踊り	2
8/20	交通事故慰霊祭	2
8/21、8/30	特別活動パトライト作戦	10
9/1	町民駅伝競技大会・小学生マラソン大会	3
9/20、9/30	秋の交通安全運動 一斉パトライト作戦	12
9/24～9/27	秋の交通安全運動 通学児童街頭指導	8
9/26	老人クラブ連合会街頭啓発	3
11/18～11/19	冬の交通安全運動 通学児童街頭指導	4
11/14、11/22	冬の交通安全運動 一斉パトライト作戦	4
1/25	北緯45度しばれまつり	5
合計		129

### 地域生活安全協会補助事業

17万円

地域住民の生活を守る活動の充実を図るため地域生活安全協会に対し、その運営費の一部を補助しました。

### 〈防災会議費〉

(担当：総務課総務グループ)

### 防災対策事業

決算額 377万円 (379万円)

町民の生命と財産を守るため防災会議を開催し、防災訓練・防災備品の整備に係る経費を支出しました。

### 〈バス転換関連施設維持管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

### 天北線バス関連施設維持補修事業

決算額 333万円 (340万円)

バス路線の円滑な運行やバス利用の促進を図るため、バスターミナル等の維持管理にかかる経費を支出しました。

### 〈情報推進費〉

(担当：総務課総務グループ)

### 中頓別町電子自治体推進事業

決算額 2,051万円 (2,123万円)

国が進める電子政府・電子自治体に対応し、平成16年度から本町も地域情報化、行政情報化を整備し、合理的かつ効果的な行政事務の改善とサービスの向上を図ってきました。

これら電子自治体等の機器、システムの保守や維持に必要な経費に加え、今年度は職員用端末の更新に係る経費も支出しました。

## 〈税務総務費〉

(担当：総務課住民グループ)

### 町民税事業 決算額 148万円(150万円)

個人住民税の賦課業務に要した経費です。

今年度は、平成25年1月1日から始まった地方税の電子申告に対応するためのシステム構築を行いました。 758千円

### 固定資産税事業 決算額 203万円(216万円)

土地・家屋・償却資産の賦課業務に要した経費です。

今年度は、3年に一度の評価替え(次回平成27年1月1日)のための標準宅地鑑定評価業務を行いました。 756千円

### 軽自動車税事業 決算額 15万円(15万円)

軽自動車税の賦課業務に要した経費です。

### 法人税事業 決算額 35万円(36万円)

法人税の賦課業務に要した経費です。

### 納税管理事業 決算額 19万円(23万円)

徴収簿収納管理、滞納税額の管理及び個別徴収に要した経費です。

### 税務庶務事業 決算額 28万円(36万円)

予算管理、条例整備、文書管理等及び各種庶務事務に要した経費です。

### 所得税確定申告関係事業 決算額 63万円(72万円)

所得税の確定申告書の作成及び税務相談を受けることによって、相談者への利便性を図りました。

## 〈戸籍住民登録費〉

(担当：総務課住民グループ)

### 戸籍事務事業 決算額 33万円(36万円)

戸籍法に基づき、戸籍・除籍・改製原戸籍の管理及び発行や住民に関する事務処理に要した経費です。

今年度は、戸籍用タイプライターの分解掃除を実施しました。 153千円

### 戸籍住民事務事業 決算額 223万円(244万円)

住民情報システムにより、市町村における住民の居住環境の公証、選挙人名簿の登録その他住民に関する事務処理の基礎となるもので、住民に関する記録を正確かつ統一的に行うシステムの保守管理業務を委託しています。

今年度は、平成19年度に更新した住民基本台帳ネットワークの更改を行いました。

1,103千円

## 〈選挙管理委員会費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

### 選挙管理委員会事業

**決算額 66万円(70万円)**

この経費は、主に選挙管理委員(4人)の報酬、費用弁償等を支出しました。

## 〈選挙啓発費〉〈在外選挙費〉

**決算額 0万円(0万円)**

(担当：選挙管理委員会事務局)

新たに選挙権を得た新成人などに選挙の大切さを理解してもらうため、成人式にパンフレットを配布しました。国外に居住する在外選挙人の名簿登録事務に係る郵便料については請求がなかったことから未執行になりました。

## 〈参議院議員選挙費〉

**決算額 283万円(283万円)**

(担当：選挙管理委員会事務局)

参議院議員通常選挙が平成25年7月21日に執行され、その選挙事務に支出した経費です。

## 〈統計調査費〉

**決算額 13万円(13万円)**

(担当：総務課住民グループ)

### 統計調査業務事業

**13万円**

#### ・工業統計調査

2.3万円

経済産業省が毎年行う工業(製造業)の実態を把握する調査です。

#### ・学校基本調査

0.8万円

文部科学省が毎年行う幼稚園から高校までの生徒数等の実態を把握する調査です。

#### ・経済センサスー調査区管理

0.4万円

今後実施予定の経済センサス活動調査を円滑に行うための基礎調査内容の修正等の事務です。

#### ・住宅土地調査

7.3万円

住宅・土地統計調査の実施に向けた、基礎調査です。

#### ・商業統計調査

0.7万円

商業を営む事業所の実態を明らかにし、商業に関する行政施策の基礎資料を得るための調査です。

#### ・経済センサス

0.7万円

全ての事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする調査です。

#### ・農林業調査

1.1万円

農林業・農山村の現状と変化を的確に捉え、きめ細かな農林行政を推進するために、農林業を営んでいるすべての農家・林家・法人を対象にする調査です。

## 〈監査委員費〉

(担当：監査委員書記)

**監査委員事務事業** **決算額 84万円(85万円)**

この経費は、監査委員2名の報酬や監査業務に伴う費用弁償などに充てられました。

## 〈社会資本整備総合交付金事業費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

**社会資本整備総合交付金事業** **決算額 48万円(48万円)**

社会資本整備総合交付金は、地方公共団体等が行う交通安全の確保や経済基盤の強化、生活環境の保全等の社会資本の整備に対して国から交付金が交付されるものです。

平成25年度に実施した事業は以下のとおりです。

- ・観光看板整備事業 48万円

## 民生費

---

### 〈社会福祉総務費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

**高額療養費一部負担金貸付事業** **決算額 0万円(0万円)**

中頓別町国民健康保険の被保険者が高額な療養費を医療機関に支払う際に一時的にその一部負担金を貸付する事業です。

平成22年度から平成25年度までの貸付実績はありませんでした。

**社会福祉協議会運営補助事業** **決算額 645万円(646万円)**

社会福祉協議会の運営に係る経費の一部を助成します。主に社会福祉協議会の職員2名の人件費です。

**社会福祉総務事業** **決算額 160万円(169万円)**

他に区分されている事務事業以外で、社会福祉事業に要する諸経費を計上しています。また、灯油価格高騰により、一定の要件を満たした高齢者世帯、ひとり親家庭等世帯に対し暖房用燃料購入費の一部を助成しました。

福祉灯油助成事業 1, 320千円(44世帯×30千円)

その他 93千円

**戦没者慰霊祭開催事業** **決算額 6万円(8万円)**

戦争によって亡くなった中頓別町の戦没者に対し、追悼の意を表し恒久平和への誓いを新たにするため、5月31日に開催し、遺族9名、来賓28名の参列者で行われました。

**民生委員協議会運営補助事業** **決算額 181万円(187万円)**

民生委員・児童委員で構成する中頓別町民生委員協議会に対し、その運営費の一部を補助します。協議会は、各民生委員の担当地区における生活状態の把握、高齢者等の安否確認、

保護の指導、社会福祉事業施設や関係行政機関との連携等の任務の遂行と円滑な運営を図ることを目的としています。

**福祉バス購入事業** **決算額 343万円(344万円)**

老人クラブ、障がい者(児)団体及び各種グループのレクリエーション、集会の送迎や関係団体の実施する事業等に利用する福祉バスを購入しました。

〈購入車両〉

トヨタコンピューター(4WD・4A/T) 14人乗

**〈老人福祉費〉**

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

**建設資金償還金補助事業** **決算額 685万円(685万円)**

社会福祉法人南宗谷福祉会が平成9年度にデイサービスセンター・在宅介護支援センターを建設した際に借入れた長期借入金の償還金に対する補助をしました。

この事業は、社会福祉事業法及び中頓別町社会福祉法人の助成に関する条例に基づくものです。平成25年度は、元金6,170千円、利息680千円の償還となっています。

※この事業は、平成26年度に繰上償還し事業が完了しました。

**敬老会開催事業** **決算額 45万円(46万円)**

75歳以上の高齢者を対象に、9月13日、町民センターで該当者128名、来賓14名の出席により敬老会を開催しました。

喜寿を迎える方22名には、記念写真の贈呈をしました。

**高齢者事業団運営補助事業** **決算額 50万円(50万円)**

高齢者事業団の運営に係る高齢者事業団開拓員活動事業に対し助成しています。

このうち3分の2が道補助となっています。

**高齢者乗合自動車無料乗車券交付事業** **決算額 72万円(72万円)**

町内の75歳以上の高齢者に対し、町内のバス路線区間に限り無料で乗車することができる乗車券を交付しています。平成25年度末現在238名に交付しています。

**高齢者等スポーツレクリエーション大会開催事業** **決算額 5万円(5万円)**

町内に居住する65歳以上のお年寄りや身体障害者及び知的障害者の福祉活動の一環として、8月8日に開催し、軽スポーツ活動を通し、健康増進と融和・親睦を深めました。

**在宅老人デイサービスセンター等運営事業** **決算額 815万円(815万円)**

在宅老人デイサービスセンターは、在宅の要援護老人等に対し、通所の方法により各種サービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図っています。

この事業は、社会福祉法人南宗谷福祉会に委託しています。

**除雪サービス事業** **決算額 145万円(145万円)**

一人暮らしのお年寄りや、お年寄りだけの世帯で、積雪による外出の不安や、冬期間の生活環境支援のために、除雪に係る労力を確保できないと認める世帯に対して、積雪時に玄関

前など住宅周辺の除雪を行いました。

この事業は、社会福祉協議会に委託して実施されています。

**生きがい活動支援通所事業** **決算額 0万円(0万円)**

デイサービスセンター長寿園において、生きがい活動援助員を配置し、利用対象者のニーズ及び身体の状態に応じ、きめ細かなサービスを提供します。

利用対象者は、介護保険での介護認定がでない方が対象となります。

平成25年度の事業対象者はいませんでした。

**中頓別町ピンネシリ温泉入館料助成事業** **決算額 56万円(88万円)**

町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや心身障害者、知的障害者の憩いの場の提供と心身の健康増進のために、148名に入浴券を交付しました。利用者は延べ2,525名でした。

入浴料380円のうち、160円(入湯税含む)が自己負担となります。

**訪問介護サービスセンター運営事業** **決算額 1,054万円(1,054万円)**

在宅者の要介護老人及び障害者等に対して、ホームヘルパーを派遣する事業として、訪問介護サービスセンターの運営を社会福祉法人南宗谷福祉会に委託している経費です。

平成25年度は、145名(延831名)が利用しました。

**老人クラブ連合会運営補助事業** **決算額 32万円(32万円)**

老人クラブ連合会の運営に係る経費の一部を助成しています。

**老人ホーム入所事業** **決算額 1億617万円(1億602万円)**

町内外の老人ホームに入所している方の入所費用を支出しています。入所者本人と扶養義務者は所得に応じた費用負担があります。

平成26年3月末日現在の養護老人ホーム長寿園の入所者は55名で、そのうち48名が本町の措置者となっています。

**老人福祉事業** **決算額 3,511万円(3,513万円)**

後期高齢者医療広域連合療養給付費市町村負担金などを計上しています。

療養給付費市町村負担金については、被保険者数及び給付費見込みを市町村ごとに算出しています。

**後期高齢者見舞い金助成事業** **決算額 598万円(1,017万円)**

後期高齢者に対し医療に要する経費の一部を助成することにより、医療費の負担を軽減し、地域で安心して生活できるよう、後期高齢者の福祉の増進を図ります。

見舞金の額は、医療機関等に支払った医療費等のうち月額2千円以内を助成しました。

平成25年度は、308名に助成しています。

**国保病院患者送迎事業** **決算額 165万円(194万円)**

高齢者や通院が困難な方を、市街地を除く町内全地域を対象に週2回行っている病院患者送迎サービスを実施しました。

平成25年度の利用者は641名でした。



## 〈国民年金費〉

(担当：総務課住民グループ)

### 国民年金事務事業

**決算額 4万円(4万円)**

法令に基づき、市町村が行わなければならない業務で、照会業務等に要した経費です。

## 〈障害者福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 障害者医療費給付事業

**決算額 116万円(161万円)**

身体に障がいがある方の身体的負担(人工透析や人工関節等)を軽減したりすることで、日常生活が容易になるよう行われる医学的処置、薬剤、治療、材料などの給付を行う医療費の一部を助成しました。

平成25年度は、入院2件(肢体不自由・内臓障害)、入院外2件(内臓障害)に助成しました。

### 障害者総合支援給付事業

**決算額 7,645万円(8,168万円)**

障害者自立支援法の施行に伴い、障がい者の日中系サービス、居住系サービス、短期入所、児童デイサービスといった障がい福祉サービス費の負担です。

現在、サービスを利用している方々は、生活保護15名、施設入所13名、共同生活介護(グループホーム)9名、就労継続支援(B型)7名、短期入所1名、児童デイ2名がサービスを利用しました。

また、身体の障がいがある方の自立した日常生活を過ごすために補う補装具7件(補聴器4件、電動車椅子1件、車椅子1件、松葉杖先ゴム1件)の交付を行いました。

### 障害者福祉事業

**決算額 6万円(10万円)**

障がい者福祉事業に要する諸経費を計上しています。

### 地域生活支援事業

**決算額 202万円(259万円)**

障がい者(児)が、安心して暮らすことのできる地域社会の実現、自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的として、研修会の開催や、日常生活用具108件の給付を行いました。

## 〈災害救助費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 災害救助事業

**決算額 0万円(0万円)**

暴風、豪雨等の自然災害により死亡された町民の遺族に対する災害弔意金や被災世帯の生活の立て直しのための災害援護資金の貸付を行うための経費です。

### 〈重度心身障害者特別対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 重度心身障害者医療給付事業

**決算額 876万円(845万円)**

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫若しくは肝臓の機能障がいである1級から3級の障がいに該当している方などの医療費の一部を助成しました。

### 〈地域福祉対策事業費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 緊急通報システム事業

**決算額 74万円(86万円)**

ひとり暮らしのお年寄りや身体の不自由な方などの、増え続ける独居世帯者の安心を確保するために、緊急通報システム端末の貸与を行っています。

平成25年度末現在、安全センター14戸、健康づくり財団4戸の設置となっています。

#### 福祉ハイヤー助成事業

**決算額 320万円(413万円)**

重度肢体不自由者等、70歳以上の高齢者(一部制限があります)の通院などが容易になるように、タクシーチケット(1枚500円)を支給します。交付枚数は、48枚です。

自家用車を所有している方の配偶者(70歳以上)にも年間24枚交付します。

年度途中での交付該当者は、年間交付枚数を月割で交付します。

### 〈介護福祉センター費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 介護福祉センター管理事業

**決算額 316万円(346万円)**

介護福祉センター及び保健センターの光熱水費など、施設の維持管理に係る経費です。

### 〈次世代育成支援対策費〉

(担当：こども館)

#### 次世代育成支援対策事業

**決算額 51万円(51万円)**

未来を担う子ども達のために、地域に開かれた認定こども園として、積極的に老人福祉施設や、お年寄りとの世代間交流を取り入れることで、豊かな人間性を身につけることを目的としてきました。また、町内の子ども達の健やかな成長ぶりを見守ったり、小学校・中学校・高校生(町内在住の高校生)との交流を持つことによって、社会性や協調性を養うことも目的としてすすめてきました。

事業名	交流区分	内 容	参加人数
保育所地域活動事業	世	こども園花壇づくり	18名
	世/異	運動会	175名
	世/異	盆祭り	123名
	世/異	オペレッタ観劇	65名
	世/異	人形劇観劇	46名

(世代間交流) (異年齢児交流)	異	畑づくり	35名
	異	保育士にチャレンジ	36名
	異	子ども健康支援体操	58名
	異	子ども健康支援体操	52名
	世/異	しめ縄講習会	41名
	世/異	マジックショー	76名
	異	放課後交流	29名

### 〈介護予防費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 介護予防事業

**決算額 125万円(137万円)**

介護保険法に基づく、介護予防支援サービス（予防ケアプランの作成、サービス事業者との連絡調整等）を行うための経費を支出しました。

### 〈乳幼児医療費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 乳幼児等医療給付事業

**決算額 294万円(282万円)**

満18歳までの子どもたちに対し医療費の無料化を図り、疾病の早期診断と早期治療を促進し、乳幼児等の保健の向上と福祉の増進、子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図っています。

### 〈児童措置費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 児童手当支給事業

**決算額 2,573万円(2,568万円)**

児童を養育している方に手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会をになう児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に年3回支給しています。

#### 障がい児生活支援事業

**決算額 40万円(219万円)**

南宗谷子ども通園センター負担金や図書購入費などです。

### 〈ひとり親家庭等医療給付費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### ひとり親家庭等医療給付事業

**決算額 20万円(71万円)**

ひとり親家庭等の健康の保持を図るため、医療費の一部を助成します。

### 〈児童福祉施設費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 児童福祉施設事業

**決算額 11万円(11万円)**

小頓別公園の管理委託料を計上しています。

### 〈認定こども園費〉

(担当：こども館)

#### 認定こども園事業

**決算額 1,432万円(1,488万円)**

小学校就学前の子どもを対象とし、一人ひとりの子どもの状況や発達過程を踏まえ、地域の実情に応じた創意工夫のある、教育及び保育を一体的に行ってきました。

### 〈放課後児童健全育成費〉

(担当：こども館)

#### 放課後児童健全育成事業

**決算額 134万円(138万円)**

就労等により、保護者が昼間家庭にいない小学生を対象として、家庭的機能の補完をしながら遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図ってきました。

### 〈地域子育て支援費〉

(担当：こども館)

#### 地域子育て支援事業

**決算額 38万円(40万円)**

すべての子育て家庭を対象に、親子の集いの場の提供や、子育てに関する情報提供、及び相談事業を行ってきました。

講演会 (年1回)

講座 (年4回)

遊びの広場 (月4回～7回)

子育てサロン (月1回)

子育て相談事業 (随時)

### 〈養育等医療費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 養育等医療事業

**決算額 7万円(60万円)**

養育医療費及び育成医療費に係る経費を計上しています。平成25年度では、育成医療1件に対し給付しています。

## 衛生費

---

### 〈予防費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 感染症予防事業

**決算額 7万円(10万円)**

感染症法に基づく結核検診や北海道エキノコックス症対策実施要領に基づくエキノコックス検診を行いました。結核検診は65歳以上の方を対象とし3人の方が、エキノコックス検診は個別案内を小学生5・6年生、中学1年生に行い22人が受診しました。

#### 健康教育事業

**決算額 9万円(9万円)**

南宗谷3町で開催している難病医療講演会を、中頓別町で開催し、「もの忘れ」について理解を深めました。また、ストーマ(人工肛門)を持った方の皮膚のケアについて、個別の相談の場を設けました。

#### 保健予防事業

**決算額 612万円(621万円)**

保健予防全体に係わる事業(会議・研修・車両維持・システムの更新等)を円滑に推進します。

#### 予防接種事業

**決算額 535万円(562万円)**

予防接種法に基づき定期の予防接種(BCG、ポリオ、四種混合、麻しん風しん、65歳以上の方のインフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)を医療機関に委託し、実施しました。子宮頸がんについては国からの勧告により積極的勧奨を控えています。任意の予防接種(65歳未満の方のインフルエンザ、70歳以上の方の肺炎球菌)を受ける方については費用の一部を助成しました。

### 〈母子衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

#### 母子健康相談健康教育事業

**決算額 8万円(9万円)**

妊婦・乳幼児の健康相談、栄養相談、離乳食教室などの健康教育事業を実施し、安心して子どもを産み育てることができるように支援しました。

#### 母子健診事業

**決算額 142万円(178万円)**

母性と乳幼児の健康の保持増進を図る事を目的に、妊婦の健康診査に対する助成、乳児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診を行いました。さらに精密検査が必要な方には費用の一部を助成しました。

#### 母子歯科保健事業

**決算額 9万円(10万円)**

乳幼児の虫歯予防のための歯科医師による健診と歯科衛生士によるフッ素塗布と歯科指導、保健師・栄養士による相談等を年に3回実施、のべ73人の利用がありました。

## 〈環境衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 一般廃棄物処理事業 **決算額 9,020万円(9,459万円)**

一般廃棄物処理については、可燃ごみ及び生ごみは、南宗谷衛生施設組合において処理し、リサイクル及び不燃ごみの処理は、町において分別収集をしました。

- ・ 南宗谷衛生施設組合負担金 5,937万円
- ・ ごみ処理事業(収集・埋立処分場管理等)委託料 2,903万円
- ・ その他ごみ袋購入、販売委託料等 180万円

### 環境衛生事業 **決算額 29万円(36万円)**

住みやすい環境の確保のため、狂犬病予防・有害駆除(スズメバチ等)・エキノコックス症媒介動物(キツネ)対策及び環境美化に要する経費です。

平成25年度は、76頭の畜犬に対し狂犬病予防注射を実施しました。

### 合併処理浄化槽設置整備事業 **決算額 179万円(179万円)**

合併処理浄化槽を整備しようとする方に対し、合併処理浄化槽設置整備事業補助要綱に基づき助成しました。平成25年度は2件の合併処理浄化槽の整備に対し助成しました。

## 〈墓地火葬場費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 墓地火葬場維持管理事業 **決算額 138万円(146万円)**

町内に設置されている5ヶ所の墓地と火葬場1ヶ所の維持管理に要する経費です。

## 〈診療所費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 歯科診療所施設整備事業 **決算額 5,792万円(6,078万円)**

歯科診療所の増改修工事を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように支援しました。

## 〈地域保健対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 地区組織活動事業 **決算額 39万円(43万円)**

各地区から選ばれた保健推進員とともに健康づくりに取り組みました。

- ・ 1年間の保健事業をのせた健康カレンダーを全戸配布しました。

## 〈健康増進費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### がん検診事業 **決算額 306万円(364万円)**

各がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん)を実施し、が

ん患者を早期に発見し、早期治療に結びつくように援助しました。

実施にあたり、子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診については特定の年齢の方に検診の個別勧奨を行うとともに、検診を無料で受けられるクーポン券を発行し、より多くの方にがん検診を受けていただけるよう働きかけを行いました。

各がん検診の受診数は、胃がん検診193人、肺がん検診214人、大腸がん検診218人、子宮がん検診62人、乳がん検診78人です。

### **健康教育事業**

**決算額 95万円（96万円）**

各地区等での健康相談や健康教室などを通して、より健康的な生活が継続できるように支援を行いました。健康増進法に基づく40～64歳の健康教育は59回435人、健康相談は70回212人の参加がありました。また、機能訓練事業などを通して、閉じこもり予防、介護を要する状態になる事を予防するための支援を実施しました。その他、保健師、栄養士は随時家庭訪問を行いました。

### **健康診査事業**

**決算額 65万円（65万円）**

健康増進法に基づく健康増進事業（骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診）の他、同法施行規則に定める健康診査及び保健指導（医療保険者が行う特定健診等の対象以外の方）を実施しました。個別の健診結果をもとに生活習慣病予防や改善に向けた支援を行いました。

### **歯科保健事業**

**決算額 50万円（54万円）**

80歳で20本の歯を保つことでさらに豊かな生活ができるよう、生涯を通した歯の健康づくりを推進します。特定健診等とあわせて8020さわやか健診を行いました。幼児・児童・生徒にブラッシング指導を行い、虫歯予防ができるように支援しました。

### **健康増進事務事業**

**決算額 119万円（122万円）**

健康増進法に基づく事業（会議・研修・車両維持等）を円滑に推進しています。

## **労働費**

---

### **〈労働諸費〉**

（担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ）

### **緊急雇用創出対策推進事業**

**決算額 512万円（558万円）**

地域における雇用問題に関して関係機関と連携し、各種雇用対策の円滑な推進を図りました。

- ・集落活動支援事業 298万円
- ・地産地消とコミュニティ・レストラン事業 213万円
- ・諸会議等出席のための旅費 1万円

### **稚内雇用対策協議会関係事業**

**決算額 0万円（1万円）**

## 農林水産業費

---

### 〈農業委員会費〉

(担当：農業委員会事務局)

#### 農業委員会活動促進事業 **決算額 188万円(188万円)**

農業委員会等に関する法律に規定する事項に係る法令事務及び中頓別町農業委員会に対する事務委任に関する規則に基づく町から事務委託されている事務（農地の所有権移転・賃貸借や転用等）の執行を行いました。また、広報活動やホームページを通じて農業委員会の情報提供を行うとともに、地区別懇談会を開催し農業者の意見を聞きながら事務を進めました。

#### 農地制度実施円滑化事業 **決算額 16万円(16万円)**

農地パトロール時における農地の利用状況調査や耕作放棄地全体調査を通じて遊休農地や耕作放棄地の防止・解消を図るとともに、新農地法に関する農業委員及び職員の研修を実施しました。

#### 農業担い手対策事業 **決算額 33万円(33万円)**

中核となる農業者（認定農業者）の拡大を図るとともに、妻や農業後継者の役割を明確にし、家族経営の安定を促進する家族経営協定の締結促進に努めました。また、後継者のいない高齢農業者への戸別訪問を実施し第三者継承による新規参入の促進を行うとともに、中低年齢の独身の農業後継者や経営者に対してパートナーとの出会いの場を提供するなどの事業を実施しました。

#### 農地基本台帳管理事務事業 **決算額 3万円(3万円)**

農地基本台帳には、番地ごとの農地の基本的な情報が整備されており、農業振興地域整備計画の樹立や農政活動の基礎となる資料となっています。農地の所有権移転や利用権の移転に際して情報を更新し、適切な管理を行ってきました。

### 〈農業振興費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

#### 認定農業者支援事業 **決算額 114万円(114万円)**

本町農業の中核的な担い手として、経営規模の拡大や集約化、複合化などによって、魅力ある経営実践を目指す意欲ある農業者を「認定農業者」として町長が認定し、各種の支援を行いました。

##### ○農業経営基盤強化資金利子助成事業

法律に基づいて、積極的な経営を展開する認定農業者が借り入れた「農業経営基盤強化資金（通称：L資金）」に対する利子の助成を行いました。

#### 中頓別町農業体験交流施設（食彩工房「もうもう」、体験農園「オガル」）

#### 管理運営事業 **決算額 644万円(645万円)**

中頓別町農業体験交流施設の施設管理運営費です。



**○中頓別町農業体験交流施設の管理の代行のための指定管理料 600万円**

- ・管理施設 農産物加工研究施設（食彩工房「もうもう」）  
農業体験施設（体験農園「オガル」）
- ・業務の範囲 施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定期間 平成24年4月1日～平成28年3月31日 4年間

**○中頓別町農業体験交流施設修繕費 44万円**

**農業振興事業 決算額 2,548万円（2,550万円）**

農業行政の推進のため、農用地区域の管理、農業振興地域整備計画の策定・管理、農業担い手対策の推進、農業関係制度資金などの他、地産地消・農業体験の推進に係る事業を実施しました。

**○国営草地開発事業償還金**

中頓別町営牧場（弥生・神崎）を造成した事業費の償還金です。最終償還年度は平成25年度です。

**中山間地域等直接支払交付金交付事業**

**決算額 3,208万円（3,208万円）**

農業者が現在耕作している農地の面積に応じて、農業者が主体となり組織された中山間地域等直接支払制度推進協議会に対して、国費・道費・町費より交付金を交付しました。

**中頓別町農業担い手育成事業 決算額 265万円（272万円）**

平成23年度に新たに農業経営を開始した新規就農者に対する支援や酪農研修生への支援、新規就農希望者の募集・経営継承希望農場の実態調査や研修生用住宅の改修等を行ってきました。

**青年就農給付事業 決算額 188万円（187万円）**

新規就農者（親元就農者含む）は、就農後の経営の安定化に期間を要することから、経営が軌道に乗るまでの間、一定条件を満たす新規就農者に対し国が支援を行う制度で、平成24年度から実施されています。

**〈畜産業費〉**

（担当：産業建設課産業グループ）

**各種制度資金利子補給事業 決算額 52万円（53万円）**

酪農経営において累増した負債により、経営悪化が余儀なくされている農家に対して積極的に農業経営の改善を図ろうとする者が、必要とする資金の借り入れに対し生ずる利子の一部を負担軽減措置として利子補給を行いました。

**農業関係団体支援事業 決算額 330万円（330万円）**

**○中頓別町乳牛検定組合運営事業 45万円**

乳牛の資質向上と経営の合理化を推進するため乳牛群の能力検定を実施し、生産性の向上等酪農経営の体質強化を図ることを目的として活動している団体の運営費の一部を補助

しました。

**○中頓別町酪農ヘルパー利用組合運営事業** **285万円**

酪農家の家族の休養・研修・旅行等に完全な休日を取り、経営の安定と生活の向上に資するための事業に対し組合運営費の一部を補助しました。

**中頓別町営牧場運営事業** **決算額 527万円(558万円)**

乳用牛の育成部門における飼養労働力の軽減と適期受胎による生産性の向上を図るため適正な運営を行いました。

**○町営(弥生・神崎)牧場運営業務委託事業**

・利用料 1頭1日あたり200円

・受託期間 5月下旬から10月中旬

**中頓別町営牧場草地更新事業** **決算額 403万円(403万円)**

町営牧場は、造成から十数年が経過しており、草地の老朽化が進み、入牧牛の成育や受胎成績が年々悪化している状況にあることから、計画的な草地の更新を行い、授精牧場としての機能の強化を進めていきます。

**農村地域交流事業** **決算額 32万円(32万円)**

**○乳牛共進会関連事業** **14万円**

町内で飼養されている乳用牛(ホルスタイン)の精鋭を一堂に会し、道北ホルスタイン共進会の予選会を行うとともに、農業者相互の親睦を図り、消費者との交流を深め、本町の基幹産業である酪農業への理解を深めることを目的に開催される、中頓別町乳牛共進会の開催経費の一部を負担しました。

中頓別町乳牛共進会で選抜された乳用牛は、中頓別町の代表として道北ホルスタイン共進会へ出品され、審査の結果上位入賞を果たした乳用牛は、宗谷管内の代表として北海道ホルスタインナショナルショーへ出品されております。これら道北ホルスタイン共進会・北海道ホルスタインナショナルショーへ出場するための経費の一部を負担しました。

・中頓別町乳牛共進会開催負担金 6万円

・道北ホルスタイン共進会出場負担金等 5万円

・北海道ホルスタインナショナルショー出場負担金等 2万円

**○酪農祭開催事業** **18万円**

基幹産業である酪農を通し、地域住民と交流を図り、畜産・酪農に対する理解を求め、地域農業の発展を全町民が共同の力で築くための事業であり、これに対し開催経費の一部を負担しました。

**循環農業支援センター管理事業** **決算額 255万円(257万円)**

当該施設を利用組合に無償貸付していますが、施設管理上最低限必要な経費(設備機械の維持管理費用や作業車両の定期点検費など)を負担しました。

**畜産振興事業** **決算額 12万円(17万円)**

畜産行政の振興を図るため、畜産関係経費の策定及び管理、家畜衛生対策、家畜糞尿等畜産環境対策に要する業務を執り行いました。

## 6次産業化推進事業

決算額 0万円(2万円)

魅力ある農村づくりを図るため、牛乳等の地域資源を活用した6次産業化の推進を目指し、協議検討を進めるための検討会を設置し、協議を進めています。

### 〈有害鳥獣対策費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

#### 有害鳥獣対策事業

決算額 730万円(737万円)

傷病等野生鳥獣の保護収容等に係る取扱い指針に基づき、野外で負傷・疾病した野生鳥獣の保護・収容及びへい死体の処理等の業務を執り行いました。

野生鳥獣による農林業・生活環境被害の緩和及び防止のため、「中頓別町野生鳥獣被害防止対策協議会」で捕獲体制等の見直しを進めるとともに関連機関と協力して駆除等の対策を行いました。また、農林業被害に対する自己防衛や駆除後継者養成のため、罠の購入、銃猟免許取得に要する経費の一部に対して助成を行っていますが、25年度では本制度を活用し1名が狩猟免許を取得しております。

重要課題であるエゾシカの残滓処分施設については、検討委員会を設置し、処理方法や回収等について協議を行い、具体的な方向性を確立してきました。

・有害鳥獣報償費（親熊6頭、子熊0頭、エゾシカ500頭）	668万円
・有害鳥獣等委託料	38万円
・くくり罠購入補助	0万円
・銃猟免許取得補助	16万円
・その他（研修旅費、消耗品、燃料費等）	8万円

### 〈農業者年金費〉

(担当：農業委員会事務局)

#### 農業者年金委託事務事業

決算額 39万円(39万円)

農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金への加入促進、受給者への支給手続き等の業務を進めました。

### 〈林業振興費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

#### 森林保護事業

決算額 21万円(21万円)

町有林の保護及び育成を目的として、幼齢林の野ねずみによる被害の未然防止のため植栽後9年間、野ねずみ駆除剤（リンカS1）をヘリコプターにより空中散布します。それに先立ち野ねずみの生態調査（6月、8月、10月）を実施しました。

#### 森林管理事業

決算額 256万円(262万円)

町有林の森林国営保険料などの町有林の管理経費及び民有林の伐採届、森林火災予防の対策費等の業務を執り行いました。

**森林環境保全直接支援事業 決算額 1,236万円(1,236万円)**

森林の有する多面的な機能の持続的な発揮を図る事を目的とし、町有林の育成のために各種事業(下刈り、除伐、造林)を実施しました。

○下刈事業 藤井・弥生・岩手・寿・神崎

鍾乳洞地区 事業量 67.99ha

○除伐事業 兵安分収林地区 事業量 8.72ha

○造林事業 岩手・鍾乳洞地区 事業量 8.30ha

・事業費 1,258万円(補助金855万円)

<用語の解説>

下刈 植栽木周辺の、雑草(笹・草等)の除去を行う。(標準:植栽後9年間)

除伐 支障木・不良木の除去、つる切りを行う。(標準:22年~23年目)

造林 無立木地(原野)の解消を図るため植栽を行う。

**森林整備担い手対策推進事業 決算額 21万円(21万円)**

森林労働者の就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力の確保に資するため、森林作業員、事業主、町及び道が一定の掛け金を負担し、就業日数が140日以上ある森林作業員に奨励金を支給するものです。25年度は7名分を支給しました。

**民有林公費造林事業 決算額 73万円(73万円)**

森づくり促進のため、補助事業により実施した下刈りの査定経費(補助対象経費)に対して5%を森林組合を通じて森林所有者に補助しました。

**未来につながる森づくり推進事業 決算額 439万円(449万円)**

本町内に所有する民有林について、森林としての機能の活性化を図るとともに、森林資源の充実、森林の有する公益的機能の高度発揮を目的として、造林の標準経費(実行経費)に対して町が100分の26を補助しました。

**<林道費>**

(担当:産業建設課産業グループ)

**森林管理道弥生線開設事業 決算額 2,821万円(2,821万円)**

森林管理道の開設により、森林所有者等による計画的な森林整備や作業の機械化を図り、木材等森林資源の循環的な利用及び林業経営の安定化に貢献しました。また、森林の有する多面的な機能である水土保全機能の強化や緑豊かな森林空間の利用を図りました。

○森林管理道弥生線開設事業

(事業期間 平成18年度~平成27年度予定)

・事業費 2,821万円(補助金1,438万円)

・事業内容 開設工事 延長=480m 幅=4.0m

・施工場所 一乙内川横断付近から約180mのところより鍾乳洞方向までの区間。

**林道管理事業 決算額 327万円(335万円)**

中頓別町で管理している林道施設の維持補修及び管理業務を行いました。

## 道営森林管理道松麿線開設事業

決算額 592万円（592万円）

平成23年度に道営森林管理道菊水線開設事業が完成し、今後も計画的な森林整備や作業の機械化の効率化が求められていることから、森林管理道整備により木材の運搬の効率の向上や作業道と適切な組み合わせにより森林整備の促進と森林経営の安定化が図れるよう取り進めました。

### ○道営森林管理道松麿線開設事業

- （事業期間 平成24年度～平成33年度予定）
- ・事業費 2,369万円  
（国負担分 1,185万円 道負担分 592万円 町負担分 592万円）
- ・事業内容 開設工事 延長＝180m、幅4.0m、路線測量
- ・施工場所 松音知地区荒木氏旧牛舎付近から山林へ180mの区間。

## 森林整備加速化・林業再生事業

決算額 4,117万円（4,117万円）

平成21年度から進められている事業で、作業道と間伐と一体的に整備することにより森林整備の効率化が促進され林業経営の安定化が図られるよう取り進めました。また、地域の建設業者を利用することにより雇用の場が拡充され、地域への経済効果が図られました。なお、補助金については全額補助となっています。

### ○林業専用道松音知2号線整備事業

- （事業期間 平成24年度～平成26年度予定）
- ・事業費 1,365万円（補助金1,365万円）
- ・事業内容 開設工事 延長＝350m 幅＝3.5m
- ・施工場所 株式会社伊藤組所有の山林内

### ○林業専用道兵安4号線整備事業

- （事業期間 平成24年度～平成26年度予定）
- ・事業費 998万円（補助金998万円）
- ・事業内容 開設工事 延長＝540m 幅＝3.5m
- ・施工場所 東北木材株式会社所有の山林内

### ○林業専用道敏音知1号線整備事業

- （事業期間 平成24年度～平成25年度予定）
- ・事業費 1,754万円（補助金1,754万円）
- ・事業内容 開設工事 延長＝847m 幅＝3.5m
- ・施工場所 中頓別・浜頓別町森林組合所有の山林内

## 商工費

### 〈商工総務費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

#### 中頓別町商工会補助事業 **決算額 550万円(550万円)**

商工業の振興と地域経済基盤の安定をはかることを目的に、その指導的役割を担う中頓別町商工会に対して、経営改善普及事業等に係る経費の一部を助成しました。

#### 中頓別町中小企業振興資金融資事業 **決算額 2,001万円(2,002万円)** (融資枠 6,000万円)

町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関に運用資金を預け中小企業者に対し、有利な融資を行っています。融資額は一企業に運転資金、設備資金に対し700万円以内、木材工業関係は3,000万円以内です。また、設備資金の特例として金融機関からの貸付利率に4分の3を乗じて得た利率で計算した額を利子補給しました。

#### 商工業振興対策推進事業 **決算額 2万円(4万円)**

商工業の振興と地域経済基盤の安定を図るため各種会議等にかかる経費です。

### 〈観光費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

#### 中頓別町山村交流施設管理運営事業 **決算額 862万円(871万円)**

中頓別町山村交流施設（ピンネシリビレッジファームパーク）の施設管理運営費です。

- 中頓別町山村交流施設の管理代行のための指定管理料 848万円
  - ・人件費 554万円
  - ・管理施設—ピンネシリビレッジファームパーク〔交流プラザ（道の駅「ピンネシリ」）、オートキャンプ場、ふるさと生活体験館、コテージ〕、砂金掘体験場
  - ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
  - ・指定期間—平成24年4月1日～平成28年3月31日 4年間
- 備品購入費（交流プラザ消火器、コテージ暖房機） 14万円

#### 中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営事業 **決算額 380万円(380万円)**

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の施設管理運営費です。

- 中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の管理代行のための指定管理料 350万円
  - ・人件費 229万円
  - ・管理施設—管理棟、駐車場、指定区域内、外整備施設等
  - ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

・指定期間—平成24年4月1日～平成28年3月31日 4年間

○中頓別鍾乳洞案内看板等修繕料 30万円

**ピンネシリ温泉運営事業 決算額 1,502万円(1,565万円)**

ピンネシリ温泉(ホテル「望岳荘」)の施設運営費です。

○中頓別町ピンネシリ温泉の管理代行のための指定管理料 1,276万円

- ・管理施設—温泉(入浴)施設、宿泊施設
- ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

・指定期間—平成24年4月1日～平成28年3月31日 4年間

○導水管維持管理委託料 111万円

○水質検査手数料 11万円

○土地賃貸料、分湯料(国有林関係) 1万円

○機械設備等点検委託料 56万円

○機械設備修繕料 46万円

○備品購入費(消火器) 1万円

**観光協会補助事業 決算額 509万円(509万円)**

観光宣伝、観光イベント、観光客の誘致等幅広い活動を進めている観光協会の事業に対し助成し、町の観光産業の振興に努めました。

○人件費 476万円

○鍾乳洞まつり、ピンネシリ岳山開き、ピンネシリ岳登山道草刈、観光宣伝事業費等

**観光イベント振興事業 決算額 87万円(87万円)**

町民と観光客に楽しんでもらう各種イベントに助成しました。

・北緯45度夏まつり 18万円

・北緯45度しばれまつり 69万円

**ライダーハウス開設事業 決算額 6万円(9万円)**

中頓別町の観光PRやイベントの参加、町民とのふれあいの場を持つことによる地域の活性化を目指すため、ライダー等の無料宿泊所を開設しました。

**観光振興事業 決算額 287万円(299万円)**

道の駅を観光の拠点として、観光客の入りこみ増につなげるため、様々なイベントを実施しました。また、鍾乳洞ガイドによって、自然に親しみ、洞穴の成り立ちを学ぶ場を設け、より一層の集客効果を上げています。

・鍾乳洞ガイドの人件費 239万円

**ピンネシリふれあい公園管理事業 決算額 19万円(21万円)**

ピンネシリ温泉の周辺にある広場で、建物の維持管理や広場の環境美化に関する業務を委託しました。

**鍾乳洞ジオツアーリズム推進事業** **決算額 220万円(220万円)**

中頓別鍾乳洞を核として、地域資源を最大限活用したジオツアーリズムの展開に向けた取り組みを進めるため、鍾乳洞自然ふれあい公園内における表示板の整備やガイドの養成講座を実施しました。

**大畑山展望台公園清掃維持管理業務事業** **決算額 17万円(17万円)**

安全に大畑山展望台を利用してもらうために、施設の点検やトイレ清掃及び環境整備を実施しました。

**南宗谷観光推進連絡協議会事業** **決算額 1万円(1万円)**

南宗谷地域(浜頓別町、猿払村、枝幸町、中頓別町)の観光振興を図るため、協議会に対して負担金を支出しました。

## 土木費

### 〈道路維持費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

**道路台帳整備事業** **決算額 39万円(39万円)**

道路台帳は、町道を管理するために必要な道路の現況や用地を確認するため、また、道路の維持管理に要する費用として交付税措置がなされるため、図面及び調書を整備するために必要な台帳整備です。

- ・毎年、道路工事などで変更が生じた分を修正します。

**除排雪事業** **決算額 3,347万円(3,494万円)**

冬期間の快適な生活環境づくりのために、町道や公設駐車場などの除雪・排雪業務を行いました。

**道路維持補修事業** **決算額 505万円(581万円)**

- ・原材料費 未舗装道路の補修に使用する砕石、ダスト、道路側溝トラフやコンクリート管などを購入しました。 38万円 (35万円)
- ・町道の草刈りや未舗装道路の砂利敷き、路面整正などを行いました。 154万円 (270万円)
- ・舗装道路補修工事 141万円 (100万円)
- ・町道区画線設置工事 43万円 (43万円)
- ・除雪センター屋根塗装工事 59万円 (61万円)
- ・町道法面復旧工事(中頓別弥生線、敏音知原野線) 70万円 (72万円)

**上駒駐車場トイレ維持管理費** **決算額 27万円(31万円)**

上駒駐車場のトイレ清掃を委託し、いつも清潔な状態を保ちました。

**道路照明灯電気料事業** **決算額 147万円(135万円)**

歩行者及び車両通行の夜間の安全性確保のために設置している、道路照明灯 143 基分(町



道 20 路線) の電気使用料及び維持管理費用を支出しました。

### 〈橋梁維持費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

#### 橋梁維持費

**決算額 0万円(0万円)**

橋の維持、補修のために支出します。

### 〈道路新設改良費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

#### 6丁目線交付金事業

**決算額 1,419万円(1,419万円)**

改良・舗装工事：L=225.6m W=5.5m 歩道 1.5m～2.0m (両)

奥山さんの車庫から終点の道道美深中頓別線までの区間

#### 10丁目線交付金事業

**決算額 484万円(484万円)**

改良・舗装工事：L=95.6m W=5.5m 歩道 2.5m (片)

国道(川越さん)から除雪センターまでの区間

#### 長寿命化修繕計画事業

**決算額 456万円(456万円)**

町道にかかっている全ての橋梁 72 橋の安全性の向上や長寿命化のために、橋梁の長寿命化修繕計画を策定しました。

#### 町道整備計画委託事業

**決算額 92万円(92万円)**

今後整備を予定する町道 4 路線の整備計画を策定しました。

### 〈河川総務費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

#### 樋門樋管管理委託事業

**決算額 57万円(56万円)**

河川の洪水・氾濫等によって災害が発生しないように、宗谷総合振興局建設管理部が管理している 2 級河川の頓別川、兵知安川にある 30ヶ所の樋門・樋管の操作や管理を委託しました。

#### 河川維持事業

**決算額 58万円(60万円)**

普通河川の支障木伐採や河床に堆積した砂利撤去等の維持管理経費を支出しました。

### 〈旭台公園費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

#### 旭台公園維持管理事業

**決算額 21万円(22万円)**

旭台公園の管理を委託し環境美化の向上を図りました。

・公園管理委託料

19万円

・光熱水費

2万円

## 〈住宅管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

### 公営住宅維持管理事業 **決算額 1,059万円(1,079万円)**

住宅の修繕・維持管理にかかる費用です。

平成26年3月31日現在の管理戸数 257戸

公営住宅 218戸、特公賃 20戸、独身者住宅 19戸

- ・あかね団地公営住宅解体工事 2棟5戸 327万円(380万円)
- ・公営住宅FFストーブ給排気筒設置高変更工事 66万円(77万円)
- ・あかね拡充団地特公賃石油給湯機交換工事 18万円(20万円)
- ・公営住宅長寿命化計画策定 294万円(330万円)

老朽化した町営住宅の改善や建替などによる居住環境の向上のため、町営住宅の長寿命化計画を策定しました。

## 〈住宅建設費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

### 住宅建設促進事業 **決算額 180万円(204万円)**

町民の持ち家住宅を促進するため、中頓別町住宅建設促進条例に基づき、町内に住宅を新築又は増改築する方に対し、経費の一部を助成し、町民の定住促進と生活環境の向上を図っていきます。

実績 2件 168万円

### 賃貸住宅建設促進助成事業 **3,235万円(3,344万円)**

町内に民間アパート等の賃貸住宅はないことから、民間活力による賃貸住宅の建設を推進し、町内に賃貸住宅を建設する個人又は法人に対し、経費の一部を助成し、良質な賃貸住宅の供給の促進と町民の定住促進を図っていきます。

実績 3件 3棟12戸建設

### 危険廃屋解体撤去助成事業 **決算額 150万円(150万円)**

町内に存する老朽化し危険な状態にある廃屋化した建築物等の解体撤去をする方に対し、経費の一部を助成し、景観や住環境向上、町民の安心安全を図っていきます。

実績 3件 50万円×3件

## 消防費

---

### 〈消防費〉

(担当：南宗谷消防組合中頓別支署)

### 救急救命士病院実習事業 **決算額 54万円(56万円)**

救急隊員の行う応急処置の質を保障することを目的とし、救急医療の知識・技術を維持、

レベルアップし、より質の高い病院前救護を町民へ提供するためのものです。

**救急業務** **決算額 75万円(104万円)**

救急出動に要した費用です。

・救急業務手当・救急町外搬送旅費・救急車燃料費	57万円
・携帯電話使用料(救急隊と病院医師との連絡用)	3万円
・救急救命士賠償責任保険料	1万円
・B型肝炎検査委託料・インフルエンザ予防接種委託料	14万円

**救急資機材維持管理費** **決算額 101万円(109万円)**

救急出動に備え、救急車両・資機材の維持管理のための費用です。

・高規格救急車・2B型救急車の消耗品・車検・修理費用・保険料	40万円
・酸素ボンベ耐圧検査料・酸素充填手数料・クリーニング代	2万円
・除細動器定期点検委託料	16万円
・心電図モニター定期点検委託料	13万円
・人工呼吸器保守点検委託料	6万円
・ストレッチャー定期保守点検委託料	6万円
・救急備品購入費(減圧式固定担架)	18万円

**救急業務検証事務** **決算額 7万円(9万円)**

救急隊員の行う応急処置の質を保障することを目的とし、職員間での救急出動に関する評価を行い全体の意思統一を図ると共に、特異症例に関する事例については道北救急高度化推進検証医師に意見と評価を求め救急活動全体の検証を行いました。

**火災予防啓蒙普及業務** **決算額 18万円(7万円)**

火の用心ポスター配布、啓蒙旗設置、啓蒙看板作成、火災予防運動広報、年末警戒、町内回覧防火啓蒙等の火災予防思想の普及啓発活動を実施しました。

**防火組織指導育成・防火対象物訓練指導事業** **決算額 5万円(4万円)**

防火対象物の自衛消防組織への避難・消火訓練等の指導を実施しました。また、幼児消防クラブへの火に対するしつけと知識を身に付けさせ、子どもを通し各家庭での防火意識の高揚を図りました。

**消防査察事務** **決算額 5万円(3万円)**

火災予防のため必要に応じ消防対象物の実態を把握し、万一の火災発生に際して、被害を最小限にとどめられるように指導する業務で、違反是正のための研修費等を支出しました。

**消防学校派遣事業** **決算額 85万円(86万円)**

消防人として必要な専門知識及び技術の習得、体力、気力の練成、規律の保持、共同精神を養い、公共の福祉の増進に繋がる人材の育成を図るため下記の教育に派遣しました。

・北海道消防学校初任教育派遣	39万円
・北海道消防学校薬剤投与講習派遣	25万円
・北海道消防学校救急科派遣	21万円

**庁舎・備品維持管理業務** **決算額 297万円(319万円)**

庁舎、各備品の修繕・維持管理に要した費用です。

・光熱水費、燃料費、消耗品	232万円
・庁舎設備排気ホース、暖房器具修理	8万円
・自家用電気工作物、庁舎設備機器、消毒室自動ドア各点検料	25万円
・消防庁舎、第3分団詰所火災保険料	11万円
・敏音知会館合併浄化槽各種検査料・合併浄化槽保守管理委託料	11万円
・敏音知消防施設管理委託料・小頓別消防詰所管理委託料	10万円

**火災・救助・災害警戒防衛業務** **決算額 44万円(72万円)**

火災出動、救助出場、災害警戒にかかる職員手当・消防団出動手当、燃料費を支出しています。

**消防水利維持管理業務** **決算額 105万円(105万円)**

町内の消火栓、防火水槽の日常点検、維持管理に必要な燃料費・修繕費を支出しています。

・需用費 燃料費	10万円
消火栓修理費用・防火水槽修繕費用	95万円

**消防車両・資機材整備維持管理業務** **決算額 393万円(433万円)**

各種出動に備え、常に最善の能力を発揮するための維持管理費用を支出しています。

・需用費 消耗品、燃料費、修繕費（車検整備・普通修繕）	149万円
・役務費 空気ボンベ耐圧検査、自動車保険料、車検代行料	35万円
・備品購入費 消火用ホース、空気ボンベ、車両バッテリー	62万円
・備品購入費 小型動力ポンプ	121万円
・公課費 重量税	26万円

**通信施設維持管理業務** **決算額 73万円(80万円)**

無線設備、119番受信設備、サイレン吹鳴装置等の通信施設の維持管理費用及び無線デジタル化整備計画に関する費用を支出しています。

・無線デジタル化北海道総合通信局協議旅費・燃料費	4万円
・リモコン回線通信料・電話料	37万円
・指定無線局登録点検基本料	6万円
・無線保守点検委託料・無線遠隔サイレン保守点検委託料	26万円

**消防分団事務** **決算額 349万円(350万円)**

消防団活動を、円滑に進めていくために、報酬、旅費、災害補償関係、統計調査等に関する事務を処理するものです。

・報酬、共済費、市町村総合事務組合負担金等	330万円
・会議旅費、消耗品、交際費等	19万円

**消防団訓練指導等事業** **決算額 168万円(186万円)**

消防団が主催となる式典、演習、訓練、指導業務等に関する事業です。

・旅費 訓練出動手当	164万円
------------	-------

・需用費 燃料費 4万円

**救急訓練／警防・救助訓練業務 決算額 6万円(6万円)**

有効な火災・救助等の災害及び救急活動を行うために必要な訓練研修に係る旅費を支出しています。

**水槽付消防ポンプ自動車更新購入事業**

**決算額 6,005万円(6,010万円)**

昭和61年に購入し老朽化した水槽付消防ポンプ自動車(水2,000ℓ)を更新したものです。

**その他の係内庶務事務 決算額 9,533万円(9,562万円)**

職員の人件費を含めた予算、経理、栄典事務等の消防全般に渡る事務処理を行いました。

- ・人件費 給料、職員手当、共済費、退職手当組合負担金 9,469万円
- ・旅費 出張旅費(会議・医学会・研修会等) 6万円
- ・需用費 事務消耗品費、職員制服費、燃料費、印刷製本費 27万円
- ・役務費 通信運搬費(郵便)、防火防災訓練災害保険料等 4万円
- ・使用料及び賃借料(複写機使用料等)負担金補助及び交付金 27万円

**消防本部費 決算額 818万円(818万円)**

南宗谷消防組合の議会費、総務費、消防本部費等の負担金を支出しています。

- ・議会費、総務費、消防本部費等 677万円
- ・消防救急無線デジタル化実施設計費 141万円

**消防職員待機宿舎改修事業 決算額 236万円(236万円)**

消防職員住宅の浴室を改修したものです。

## 教育費

---

### 〈教育委員会費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

**教育委員会事業 決算額 79万円(84万円)**

教育委員会開催状況・・・14回

学 校 訪 問・・・学校行事及び授業参観、公開授業参観等の訪問を行いました。

教 育 委 員 研 修・・・北海道市町村教育委員研修会、宗谷管内教育委員研修会に出席しました。

### 〈事務局費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

**教育委員会事務局事業 決算額 6,594万円(6,618万円)**

教育委員会の補助機関として教育委員会事務局が設置され、教育委員会の職務権限に属する事務を具体的に処理するため、事務局職員の給料や事務に要する経費に充てました。

- ・人件費 給料、職員手当、共済費、賃金、退職手当組合負担金 6, 527万円
- ・旅費 出張旅費等 18万円
- ・需用費 事務消耗品費等 49万円

**公用車両維持管理事業 決算額 117万円(136万円)**

通学用スクールバスの運行、校外学習、各種スポーツ大会参加時の運行経費に充てられました。

**外国青年招致事業(英語指導助手) 決算額 410万円(419万円)**

こども館、小中学校、地域の英会話サークルなど、語学教育の充実を図るとともに、地域国際交流の推進に努めました。

- ・英語指導助手賃金 348万円
- ・旅費 研修旅費 39万円
- ・負担金補助及び交付金 自治体国際化協会等負担金 23万円

**教育研究指定校委託事業 決算額 10万円(10万円)**

特色ある学校経営の活動について研究し、その結果を集約し研究紀要として各学校へ配布し、教育効果を高めることを目的として各学校に委託しました。

- ・小学校 5万円
- ・中学校 5万円

**教職員健康診断事業(人間ドック) 決算額 3万円(3万円)**

教職員の健康の保持増進及び病気の早期発見等に努めました。

**学校体育連盟運営事業 決算額 27万円(27万円)**

町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図るために支援しました。

**中頓別町教育研究会運営事業 決算額 26万円(26万円)**

中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営方針に則り、教育課程の改善、充実を図るために支援しました。

**特別支援教育連携協議会運営事業 決算額 4万円(4万円)**

発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、総合的な支援体制の在り方や障がいに対する理解を町民や関係者で共有していくために支援しました。

**〈住宅管理費〉**

**教職員住宅管理事業 決算額 381万円(395万円)**

教職員住宅の維持管理に係る経費に充てました。また、教職員住宅3戸をユニットバス化に改修しました。さらに、教職員住宅4戸の屋根を塗装しました。

**〈学校管理費〉**

**小学校施設維持管理事業 決算額 1,309万円(1,334万円)**

児童が快適・安全に学校生活を送れるよう小学校施設を維持管理するための経費に充てました。

・旅費 学校行事運転旅費	1万円
・需用費 光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費、修繕料	775万円
・役務費 郵便料、電話料、水質検査料他	31万円
・委託料 校舎管理委託料	413万円
・使用料及び賃借料 テレビ視聴料	1万円
・工事請負費 体育館屋根改修	59万円
・原材料費 製材等	6万円
・備品購入費 冷蔵庫、ノートパソコン、消火器	16万円
・負担金補助及び交付金 学校健康会負担金	7万円

### 中学校施設維持管理事業 **決算額 904万円(917万円)**

生徒が快適・安全に学校生活を送れるよう中学校施設を維持管理するための経費に充てられました。

・賃金 学校行事運転賃金	10万円
・旅費 学校行事運転旅費	3万円
・需用費 光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費、修繕料	474万円
・役務費 郵便料、電話料、水質検査料他	35万円
・委託料 校舎管理委託料	367万円
・使用料及び賃借料 テレビ視聴料	1万円
・備品購入費 消火器	9万円
・原材料費 製材	1万円
・負担金補助及び交付金 学校健康会負担金	4万円

### 小学校教育振興事業 **決算額 153万円(163万円)**

児童の教育活動において必要となる教育指導の充実を図りました。

・賃金 特別支援教育支援員賃金	95万円
・使用料 スキー授業リフト使用料	20万円
・委託料 児童健康診断委託料	35万円
・負担金 脊柱側弯症検診負担金	3万円

### 中学校教育振興事業 **決算額 26万円(28万円)**

生徒の教育活動において必要となる教育指導の充実を図りました。

・委託料 生徒健康診断委託料	19万円
・使用料 スキー授業リフト使用料	5万円
・負担金 脊柱側弯症検診負担金	2万円

### 教職員巡回健康診断委託事業 **決算額 34万円(35万円)**

教職員の健康の保持増進及び病気の早期発見等につなげていくため、健康診断を実施しました。

### 就学児健康診断委託事業 **決算額 5万円(8万円)**

就学児の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を実施しました。

## 〈教育振興費〉

### 小学校教育振興事業

決算額 119万円(126万円)

児童に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るために必要な経費に充てました。

・行事、教材、コンピューター消耗品費	64万円
・教師用指導書	6万円
・テスト用紙代	6万円
・総合的な学習時間経費	8万円
・特別支援教育経費	9万円
・図書購入費	22万円
・教材用備品購入費	4万円

### 中学校教育振興事業

決算額 135万円(165万円)

生徒に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るための経費に充てました。

・行事、教材、コンピューター消耗品費	85万円
・教師用指導書	7万円
・テスト用紙代	8万円
・総合的な学習時間経費	7万円
・印刷製本費	2万円
・図書購入費	13万円
・教材用備品購入費	13万円

### 就学奨励事業

決算額 56万円(57万円)

経済的な理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。

## 〈社会教育総務費〉

### 少年教育推進事業

決算額 255万円(267万円)

地域の資源や文化を活かすこどもの体験活動や学習機会を提供し、青少年の健全育成を図りました。

・各スポーツ少年団指導者への支援	18万円
・スポーツ少年団本部運営補助	10万円
・あいさつ子育て推進協議会運営補助	8万円
・生徒指導連絡協議会運営補助	15万円
・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	184万円
・各種少年教育事業	20万円
※北緯45度ふれあい広場運営補助	17万円
※カルタ教室、カルタ大会	2万円



※こどもオセロ大会 1万円

**青年教育推進事業 決算額 2万円（3万円）**

地域で青年女性自体の繋がりが薄れている状況もあるため、学習の場や交流の場を提供し、青年女性教育の推進を図りました。

- ・成人式運営事業 2万円
- ・女性教育活動事業（上駒女性学級）

**高齢者教室推進事業 決算額 9万円（10万円）**

学習と思考を重ねながら、世代間交流や共同学習による交流を深めるとともに、生きがい、に満ちた生活を送るため、趣味や娯楽などのサークル活動を実施しました。

- ・高齢者教室「寿大学」 9万円

**社会教育推進事業 決算額 19万円（27万円）**

本町の社会教育事業のあり方について協議検討を行い社会教育事業や生涯学習・まちづくり活動に積極的に参加できる体制を支援しました。

- ・社会教育委員会運営事業報酬 10万円
  - ※社会教育委員報酬 4万円
  - ※社会教育委員費用弁償 2万円
  - ※管内社会教育委員会連絡協議会負担金 4万円
- ・各種研修派遣事業 6万円
  - ※各種研修旅費 6万円
- ・管内生涯教育推進協議会運営負担金 3万円

**芸術文化推進事業 決算額 83万円（80万円）**

地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、お互いの交流を図りました。また、日頃触れる事の少ない文化的公演を開催しました。

- ・町民文化推進事業 53万円
  - ※町民文化祭 13万円
  - ※芸術文化公演 40万円
- ・巡回小劇場公演運営事業（児童生徒鑑賞事業） 30万円

**文化財保護事業 決算額 1万円（2万円）**

本町の区域内に所在する文化財資源の保全と活用について協議検討しました。

- ・文化財保護委員運営事業
  - ※文化財保護委員報酬 1万円

**〈町民センター費〉**

**町民センター運営維持管理事業 決算額 798万円（841万円）**

地域住民のコミュニティ活動、社会教育、生涯学習の場の拠点として利活用を図るため、施設の維持管理に要する経費に充てました。

- ・賃金 管理人 465万円

・需用費 燃料費、光熱水費、修繕費、消耗品費	266万円
・役務費 電話料、ピアノ調律料、白布洗濯代	6万円
・委託料 電気保安管理委託、消防設備点検委託、自動ドア管理委託等	37万円
・使用料及び賃借料 テレビ聴視料等	3万円
・備品購入費（消火器3本、芝刈り機1台、刈払機1台）	21万円

### 〈社会教育施設費〉

#### 郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業 決算額 338万円（365万円）

郷土資料館、図書室、柔剣道場の施設の光熱水費などの維持管理に要する経費に充てました。また、子どもからお年寄りまで利用しやすい生涯学習の拠点としての図書室の充実を図るため、計画的に蔵書を整備しました。

・賃金 図書室臨時職員賃金	153万円
・需用費 青少年会館消耗品費、郷土資料館消耗品費、光熱水費、燃料費	90万円
・役務費 電話料、道立図書館貸出書送料等	3万円
・委託料 消防用設備点検業務委託	5万円
・負担金補助及び交付金 道図書館振興協議会負担金	1万円
・備品購入費 子供向け、一般向け、雑誌等	83万円
・備品購入費 消火器2本	2万円

#### 読書活動推進事業 決算額 3万円（7万円）

##### ・なかとんべつ子ども読書プラン事業

中頓別町子ども読書プラン（2010年）に基づき、赤ちゃんから絵本に親しみ、また、町図書室とこども館や学校図書室との連携を図りながら、子どもを中心とした読書活動の支援をしました。

##### ・ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくり、絵本を開く楽しい体験とついでに、絵本などが入ったブックスタート・パックを手渡します。町で地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に、乳幼児検診の時に「いきいきふるさと推進事業」と同時に実施しました。

##### ・絵本の読み聞かせ事業

読書活動の推進を地域全体での取り組みにするために、絵本の読み聞かせボランティアの活動について支援をしました。

### 〈多目的集会施設費〉

#### 多目的集会施設維持管理事業 決算額 69万円（76万円）

小頓別地区の住民活動の場として活用している多目的集会施設の光熱水費など維持管理に要する経費に充てました。

・賃金 除雪賃金	3万円
----------	-----

・需用費 燃料費、光熱水費、消耗品費	28万円
・役務費 電話料、し尿汲取料	8万円
・委託料 施設管理委託料、消防用設備点検料等	26万円
・使用料及び賃借料 テレビ聴視料	2万円
・備品購入費（消火器3本）	2万円

### 〈創作活動施設費〉

#### 創作活動施設運営管理事業

**決算額 42万円（48万円）**

中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体やサークルのネットワークづくり、創作活動の拠点として活用している創作活動施設の維持管理に要する経費に充てました。

・需用費 光熱水費、燃料費、施設修繕料	39万円
・役務費 電話料	3万円

### 〈保健体育総務費〉

#### 社会体育推進事業

**決算額 87万円（118万円）**

##### 社会体育推進事業

**29万円**

各種研修会への参加やスポーツ巡回車の維持管理等に要する経費に充てました。

・旅費 各種研修会	3万円
・需用費 スポーツ巡回車維持費	9万円
スポーツ推進消耗品	1万円
・役務費 スポーツ巡回車自賠責保険料、レクリエーション災害保険等	12万円
・公課費 スポーツ巡回車重量税	4万円

##### スポーツ推進委員会運営事業

**19万円**

スポーツ団体サークルが自主的・自発的にスポーツ活動を継続的に活動するために、研修や会議などの機会提供を図っています。

・報酬 スポーツ推進委員報酬	14万円
・負担金 管内スポーツ推進委員会連絡協議会負担金	5万円

##### 町民各種スポーツ大会等運営事業

**18万円**

・町長杯争奪町民パークゴルフ大会	2万円
・町民ソフトボール大会	3万円
・町民駅伝競技大会、小学生マラソン大会	11万円
・夏休みラジオ体操会	2万円

##### 冬季スポーツ教室運営事業

**22万円**

・歩くスキー教室	2万円
・町民スノーフェスティバル	8万円
・宗谷管内ジュニアアルペンスキー大会	2万円
・一般スキー教室講師報償費	5万円

・ジュニアアルペン教室講師報償費	2万円
・歩くスキー教室講師報償費	2万円
・ジュニアアルペン音響報償費	1万円

**社会体育施設運営事業** **決算額 58万円(72万円)**

学校クラブ活動や町内で活動しているスポーツ団体やサークル、愛好団体の活動の場所として利用されている町民体育館の維持管理に要する経費に充てました。

・需用費 消耗品費、光熱水費、燃料費、施設修繕料	58万円
--------------------------	------

**〈山村プール費〉**

**山村プール運営事業** **決算額 468万円(470万円)**

学校授業や一般町民の健康体力づくり、児童生徒の健全育成のために開設している山村水泳プールの維持管理に要する経費に充てました。

・賃金 監視人、清掃、除雪賃金	42万円
・需用費 燃料費、光熱水費	43万円
・役務費 電話料等	7万円
・委託料 循環器点検、屋根掛け払い	6万円
・工事請負費 上屋ビニール交換、温水ボイラー交換	362万円
・備品購入費 コースロープ、アクアスニーカー	8万円

**〈寿野外レクリエーション施設費〉**

**寿野外レクリエーション施設事業** **決算額 1,931万円(1,932万円)**

社会教育施設等(寿スキー場、野外レクリエーション施設、寿公園)の管理は有限会社中頓別振興公社が指定管理者として管理の代行を行いました。

・管理運営施設(指定管理分)	1,807万円
※野外レクリエーション施設	39万円
※寿スキー場	336万円
※寿公園	1,432万円
・旅費 索道技術管理者研修会	4万円
・需用費	83万円
※圧雪車タイヤ交換	18万円
※自走式芝刈り機(オーバーホール)	65万円
・工事請負費	37万円
※寿公園遊具修繕	24万円
※パークゴルフ場浄化槽ブロアー交換	13万円

**〈学校給食費〉**

**学校給食事業** **決算額 1,182万円(1,267万円)**

子ども達に、望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身につけさせるよう食育の推進

を図りました。

・賃金 臨時調理員賃金（3名）	4 7 8 万円
・旅費 出張旅費	1 万円
・需用費 消耗品費、光熱水費、燃料費、車両維持管理費、被服費等 重油タンク被膜塗装	6 4 0 万円
・役務費 検便検査料、電話料、給食食品微生物検査料、水道水検査料等	3 5 万円
・委託料 ボイラー保守点検委託料、地下タンク漏洩検査清掃委託料等	2 2 万円
・使用料及び賃借料 テレビ視聴料	1 万円
・備品購入費 屋内用殺虫器	3 万円
・負担金補助及び交付金 学校給食研究協議会負担金	1 万円
・公課費 重量税	1 万円

## 特別会計

### 国民健康保険事業特別会計

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

#### 国民健康保険事業 決算額 2億9,197万円（3億 438万円）

国民健康保険とは、日本に住む誰もが安心して医療を受けることができる「国民皆保険制度」を維持しており、病気やケガをしたとき、安心して病院にかかることができるように医療費の一部を国と国保加入者のみなさんが負担（保険税）し合う制度です。

・総務費	2 5 9 万円
・医療給付事業	1 億 6, 9 7 5 万円
疾病時の入院や入院外（外来受診）の医療費を支出しました。	
・高額療養費	2, 1 3 8 万円
1 ヶ月の医療費の患者負担分（一部負担金）が高額になったとき、限度額を超えた分を国保連合会経由で直接医療機関に支払います。また、個人が直接医療機関に支払った医療費で、高額となった額についても後から払い戻されます。	
・移送費	0 万円
・出産育児一時金（1人 42万円）	0 万円
・葬祭費（1人 1万円）	3 万円
・後期高齢者支援金	3, 0 4 3 万円
後期高齢者医療制度に対する支援制度です。	
・前期高齢者納付金	3 万円
・老人保健拠出金	0 万円
・介護納付金	1, 3 7 3 万円

平成25年度第2号被保険者納付金見込み額を納付しました。

・ 共同事業拠出金	3, 418万円
・ 保健事業費	176万円
特定健診を実施し、早期発見と予防事業に係る経費を支出しました。	
・ 諸支出金	1, 809万円
・ 予備費	0万円

## 介護保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 介護保険事業 決算額 1億9, 979万円 (2億1, 290万円)

介護保険制度は、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、また、要支援状態とならないよう様々な地域支援事業や、要支援状態、要介護状態となった高齢者への介護保険サービスを推進しています。

・ 総務費	353万円
・ 保険給付費	1億8, 959万円
介護サービス等諸費	1億6, 708万円
介護予防サービス等諸費	327万円
その他諸費	16万円
高額介護サービス等費	519万円
高額医療合算介護サービス等費	139万円
特定入所者介護サービス費	1, 250万円
・ 地域支援事業	495万円
・ 諸支出等	172万円

## 後期高齢者医療事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

### 後期高齢者医療事業 決算額 2, 710万円 (2, 834万円)

後期高齢者医療事業は、老人保健事業に替わる制度で75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害のある方が加入する医療保険制度です。

全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が設立され事業の運営にあたります。

市町村の役割は、保険料の徴収、各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡しなどの業務を行なうことになり、事業運営のための経費です。

・ 一般管理費	145万円
・ 後期高齢者医療広域連合納付金	2, 554万円
・ 保険料還付金	11万円

## 水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

### 簡易水道事業

**決算額 8,418万円(8,554万円)**

水道は清浄な水道水を供給する生活環境施設として重要な役割を担っています。

本年度につきましては、水道施設等の維持管理を重点に予算計上し、豊富で清浄な水道水を造り、経営の健全化に努めました。

・水道施設修繕費	722万円
・取水口土砂撤去及びスクリーン修繕工事	49万円
・中頓別浄水場給水加圧ポンプ配管修繕工事	34万円
・秋田増圧ポンプ場 ポンプ修繕工事	37万円
・敏音知ポンプ室送水ポンプ取替工事	120万円
・中頓別浄水場取水施設修繕	75万円
・中頓別浄水場原水流入弁修繕	399万円
・水道施設修繕費	8万円
・配水管修繕費	257万円
・量水器取替工事(124台)	93万円
・町道6丁目線水道管移設工事 L=11m	28万円
・弥生地区配水管布設工事(水管橋凍結対策) L=64m	126万円
・上駒地区配水管移設工事 L=150m	336万円

## 下水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

### 下水道事業

**決算額 9,387万円(9,414万円)**

下水道事業は、公共水域の水質保全と快適な生活環境づくりとの重要な役割を担っています。

下水道施設の維持管理を重点に予算を計上し、よりよい環境づくりとより効率的な施設管理に努めました。

・下水道施設修繕費	179万円
・上駒マンホールポンプ所 汚水ポンプNo.1修繕工事	42万円
・下水道管理センター 余剰汚泥引抜流量計修繕工事	105万円
・上駒マンホールポンプ所 水位計修繕工事	32万円
・下水道管修繕費	1万円
・下水道管理センター 維持管理業務委託	2,100万円
・下水道管理センター 水質検査委託業務	12万円

## 国民健康保険病院事業会計

(担当：国保病院)

### 医療機械器具等整備事業

**決算額 809万円(809万円)**

住民の皆様により良い医療サービスを提供するため、老朽化、故障した医療機器等の更新及び新規導入しました。

- ・薬品用冷蔵ショーケース
- ・離床センサーマット
- ・マットレス
- ・ストレッチャー
- ・錠剤粉碎機
- ・末梢循環促進装置
- ・避難用具
- ・輸血検査用遠心機
- ・電動ベッド
- ・エアマット
- ・エアコン
- ・水圧マッサージ器
- ・避難用ヘルメット
- ・血圧ガス分析装置